

北海道スキー・スノーボード認定指導員検定基準及び実施要領

- 1, 北海道スキー・スノーボード認定指導員規程第1条に基づき北海道スキー・スノーボード認定指導員 A 及び北海道スキー・スノーボード認定指導員 B の検定基準及び実施要領に関し必要な事項を定める。
- 2, 本内容に記載している年度は 8 月 1 日から翌年 7 月 31 日までをいう。

I スキー・スノーボード認定指導員 A (以下 認定指導員 A)

1 認定指導員 A の検定基準及び実施要領

・認定指導員 A の検定会は実技テスト及び理論テストを実施し、その総合成績から合否を判定する。

1) 実技テスト種目

●スキー

- ・ブルークボーゲン 4～6回転 緩斜面、整地
- ・シュテムターン 4～6回転 中斜面、整地
- ・ベーシックパラレルターン小回り 中斜面、ナチュラル
- ・総合滑降 中斜面の総合斜面

●スノーボード

- ・ストレート～ストップ ごく緩斜面～緩斜面 (リフトの降車を想定)
- ・スリップの展開(両サイド)
サイドスリップ～トラバース～ペンジュラム 緩斜面～中急斜面
- ・ミドルターン(2 級程度) 緩中斜面～中急斜面
- ・スリップ to スリップ 緩斜面～中斜面

2) 理論テスト

<スキー>

- ① 理論テスト出題範囲 …後日受検者へ通知する。(道連 HP に掲載)
- ② テキスト …日本スキー教程(2024 年発刊版)、受検者ハンドブック(2024 年度改訂版)
- ③ 理論テスト時間 60 分間(テスト開始後はいつでも退出できる。)
- ④ その他
 - ・外国人受検者は面接テストのみとする。

※面接テストに関しては下記の3)②を参照する事

<スノーボード>

- ①理論テスト出題範囲 …後日受検者へ通知する。(道連 HP に掲載)
- ②テキスト …日本スノーボード教程(2024 年発刊版)
- ③理論テスト時間 60 分間(テスト開始後はいつでも退出できる。)
- ④その他
 - ・外国人受検者は面接テストのみとする。

※面接テストに関しては下記の3)②を参照する事

3) 受検資格

- ①認定指導員検定会第 8 条に記載されている内容を確認する事
- ②外国人であっても加盟団体長・公認スキー学校長の推薦があれば特に受検を認める。
ただし、日本語での面接テストで通訳が必要な場合は、受検者が用意する事。
- ③養成講習に関して、認定指導員検定会第 8 条の(3)に記載されているが、理論講習 2 単位(1 単位 2 時間)、実技講習 4 単位(1 単位 2 時間)を受講し、加盟団体及び公認スキー学校が発行する「養成講習実施報告書」によって証明された者。ただし、「養成講習実施報告書」の有効期限は、受検年度とする。
※「養成講習修了報告書」の様式は。(公財)北海道スキー連盟公式ホームページ(以下公式 HP という)よりダウンロードして使用する事。

4) 受検手続

認定指導員検定会規程第 9 条のとおり

5) 合格判定

<スキー>

- ①受検年度の実技テストと理論テストの合格をもって総合合格とする。
- ②理論テストの合格基準は満点に対して 60%以上をもって合格とする。(マークシート方式)
- ③実技テストは検定員 3 名の評価とし、3 名の平均値を当該種目の取得ポイントとする。
取得ポイントは、1 種目あたりの満点を 100 ポイントとし、少数点第 1 位を四捨五入し、70 ポイント以上を合格基準とする。全 4 種目が 70 ポイント以上、合計 280 ポイント以上をもって合格とする。

<スノーボード>

- ①受検年度の実技テストと理論テストの合格をもって総合合格とする。
- ②理論テストの合格基準は満点に対して 60%以上をもって合格とする。(マークシート方式)
- ③実技テストは検定員 2 名の評価とし、2 名の平均値を当該種目の取得ポイントとする。
取得ポイントは、1 種目あたりの満点を 100 ポイントとし、少数点第 1 位を四捨五入し、70 ポイント以上を合格基準とする。全 4 種目が 70 ポイント以上、合計 280 ポイント以上をもって合格とする。

6) 合格手続き

合格発表後、合格者は認定の手続きをその会場で行う。

必要経費

・指導者資格認定料	10.000 円	
・SAH 登録料	1.500 円	
・バッジ代	2.000 円	
・ネームプレート代	2.500 円	合計 16.000 円

7) その他

- ①認定された者は「SAH 認定スキー・スノーボード指導員 A」と称し SAH 認定指導員規程に従うものとする。
- ②SAH 認定スキー・スノーボード指導員合格者の特典

・SAH 認定スキー・スノーボード指導員を有している者は、SAJ 準指導員検定の受検料を 20,000 円とする。

※但し、シクミネットでの申し込みの際に級別テスト 1 級と認定スキー・スノーボード指導員の合格証の写し(PDF または写真データ)を添付すること。

③SAJ 準指導員検定不合格者の取り扱いについて

・当該年度の準指導員受検会で不合格になった者で、認定指導員 A 資格を希望する者は、認定指導員 A 資格を有することができる。

・認定指導員 A 資格の認定に関する費用は、6)に準ずる。

※詳細は SAJ 公認スキー・スノーボード準指導員検定会の結果発表後に説明を行う。

II スキー・スノーボード認定指導員 B (以下 認定指導員 B)

1 認定指導員 B の検定基準及び実施要領

1) 認定指導員 B の検定会は、講習内検定とする。(認定指導員検定会規程第 15 条)

※検定員に関しては「認定指導員検定会規程第 13 条」に定める。

2) 検定内容について

<スキー>

①講習内検定は、理論を含む実技 2 単位(1 単位 2 時間)とする。

※雪不足等で実技テストが実施できない場合は、理論のみで実施できる。

②講習内検定および指導理論の内容

・級別テスト 2 級の技能レベルで実施する。

・指導理論(指導方法および安全指導)については、スキー教程や受検者ハンドブックを活用して、検定会を実施する加盟団体および公認スキー学校で定める。

※講習内検定の中で実技と指導理論を併用して実施しても良い。

<スノーボード>

①講習内検定は、理論を含む実技 2 単位(1 単位 2 時間)とする。

※雪不足等で実技テストが実施できない場合は、理論のみで実施できる。

②講習内検定および指導理論の内容

・ストレートランニング～ストップ(ワンフット) ごく緩斜面～緩斜面(リフトの降車を想定)

・スリップ(両サイド)

・サイドスリップ、トラバース、ペンジュラム 緩斜面～中急斜面

・ミドルターン(2 級程度) 緩中斜面～中斜面

・ショートターン(2 級程度) 緩斜面～中斜面

・指導理論(指導方法および安全指導)については、スノーボード教程や受検者ハンドブックを活用して、検定会を実施する加盟団体および公認スキー学校で定める。

※講習内検定の中で実技と指導理論を併用して実施しても良い。

3) 受検資格

- ・認定指導員検定会規程第 16 条を参照

4) 合否判定

- ・講習内検定において、実技及び指導理論の適合について基準を満たすものを合格とする。

5) 合格手続き

- ①公認料(1,000 円)を道連に納入する。
- ②加盟団体・公認スキー学校は検定会報告書に検定会実施写真 2~3 枚添付し、公認料(人数分)を道連に提出する。

※検定報告書の様式については、公式 HP よりダウンロードし使用すること。

6) その他

- ①認定指導員 B 合格者のネームプレートは講習検定を実施した加盟団体及び公認スキー学校で対応する。(道連では関与しない)
- ②認定証は検定会を実施した加盟団体及び公認スキー学校で発行する。ただし、様式は公式 HP よりダウンロードし使用する。
- ③認定指導員 B は単年度資格であり、SAJ 指導者研修会への出席義務はない(出席できない)。
- ④特別推薦による合格者はライセンス、合格証の写しを検定報告書・公認料とともに道連に提出すること。